

平和のために 今こそ戦争遺跡を考える

開催にあたって 趣旨および経緯

敗戦40年経った1980年代半ばから、戦争遺跡保存運動があちこちで始まりました。古いものに価値を置かない高度成長期の風潮に、戦争の影を払拭したい心理が重なり、すでに戦争遺跡の多くが破壊されたと言われていました。その反省に立ち地域の研究者と市民によって、保存運動が始まりました。日吉台地下壕も登戸研究所も、やはりその頃から調査研究と見学案内が盛んになりました。そして、ひとりでも多くの人に知ってもらうために、保存を求める人たちが一緒に「平和のための戦争展」を横浜と川崎の交互開催することになりました。25年前のことです。紆余曲折はありますが、新しい仲間も増えてきました。内容は一貫して「展示」と「若者の発表」と「講演やシンポジウム」が柱です。

戦争遺跡はモノに過ぎないかもしれませんが、その歴史を伝えることにより、観る人に何かを語り始めるのです。ささやかな活動かもしれませんが、目の前のひとりを大事にして、地道な活動をこれからも気負うことなく続けてまいります。

2017年12月2日(土) - 12月3日(日)

慶應義塾日吉キャンパス来往舎 (1階)

東急東横線日吉駅徒歩5分 (事前申込不要・入場無料)

- 日吉キャンパスツアー 12/2(土) 13:00と15:00の2回
※約1時間、地上のみの見学(参加希望者は来往舎集合)
※参加費無料・予約不要。ガイドによる案内付き。地下壕内の見学はありません。
- 展示 12/2(土)・3(日) 9:00~17:00 イベントテラス
戦争遺跡の写真パネル・実物資料・市民の描いた戦争の記憶の絵
- 若者の発表 12/3(日) 10:00~12:00 シンポジウムスペース
高校生・大学生による戦争遺跡関連の研究発表
- 講演 12/3(日) 13:00~16:00 シンポジウムスペース

一年中8月ジャーナリズム

～国家に戦争を始めさせないために～

栗原俊雄さん(毎日新聞学芸部記者)

- ・主催 横浜・川崎平和のための戦争展実行委員会
- ・実施団体 日吉台地下壕保存の会
登戸研究所保存の会
川崎中原の空襲・戦災を記録する会
みやまえ・東部62部隊を語り継ぐ会
- ・連絡先(TEL) 亀岡敦子:045-561-2758 森田忠正:044-911-2726